

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院呼吸器センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録や検査結果をまとめるものです。この案内をお読みに
なり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、
またはこの研究に「ご自身やご家族の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、
遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

2014年4月から2019年4月の間に、虎の門病院でインフルエンザと診断された間質性肺炎患者さん

【研究課題名】

間質性肺炎患者における季節性インフルエンザ罹患の与える影響の後ろ向きを検討

【単独・多施設】

虎の門病院による単施設研究

【主任研究者】

虎の門病院 呼吸器センター内科 中濱 洋

【虎の門病院における責任者】

虎の門病院 呼吸器センター内科 宮本 篤

【研究の目的】

2014年4月から2019年4月の過去5年間における当院で季節性インフルエンザの診断となった間質性肺炎患者さんの急性増悪の発症頻度、死亡率、治療概要などについて後ろ向きに観察し、今後の治療戦略の立案に役立てることを目的とします。

【研究の背景】

間質性肺炎の急性増悪は予後不良であることが知られていますが、季節性インフルエンザ罹患による影響の報告は乏しく、明らかではありません。この研究を通してこれらの特徴を明らかにしていきたいと思っております。

【利用する情報】

診断名、年齢、性別、既往歴、処方歴、血液検査、呼吸機能検査、画像検査、治療経過など

を利用します。いずれもすでにこれまでの治療経過で得られた情報を用いますので、これから新たに患者さんに負担がかかることはありません。もしこのご案内をお読みになり、詳細な説明を希望される場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

【研究実施期間】

2020年3月4日～2026年3月

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は2028年3月31日まで保存いたします。その後、個人が特定できる記録や患者IDとの対応表などは破棄されます。個人が特定できない研究の解析結果は破棄されません。本研究に関わる記録・資料の保管責任者は虎の門病院呼吸器センター内科宮本篤となります。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究対象者の方とご家族の方で希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までお問い合わせください。ご自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年4月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 呼吸器センター内科 宮本 篤 電話 03-3588-1111(代表)